

Popoki

ポーポキ通信 No.27 - 2007.12.10

popokipeace@yahoo.co.jp / popoki.cruisejapan.com

こんにちは。ロニーです。

気がつくともう12月になりました。DVD「ポーポキのピース・メッセージ」(『岩波 DVD ブック Peace Archives 平和ミュージアム』)ができてちょうど2年となります。その間にポーポキは色々な活動を通して、皆様と仲良くなりました。

年末に今年の活動を振り返るような形で「ポーポキ通信」No.28を作成する予定ですが、ひとまず、

HAPPY HOLIDAYS & HAPPY NEW YEAR FROM POPOKI & RONNI!



『ポーポキ、平和ってなに色？ ポーポキのピース・ブック1』(エピック 2007 ¥1500)

おかげさまでポーポキちゃんの本をたくさん売ることができました。次号では、増刷についてのご報告できると思います。増刷となると再度、みなさまのご協力をお願いすることになると思います。

よろしくお願いいたします。(ロニー)



西宮市国際交流協会図書室

教室の中のポーポキ

田村かすみ

みなさん、こんにちは。ポーポキファミリーの田村かすみです。

去る11月5日(月)、勤務する大阪桐蔭中学校において、中学一年生270人と担当の先生8人と副校長先生まで一挙に参加する「ポーポキ、平和ってなにいろ？」という授業を実施しました。

「いのち」の大切さを生徒達に伝え、考えさせる授業をして欲しいと学校側から依頼が来たのがこの活動の発端です。生徒が授業の感想を家庭に持ち帰り、ご家族と話し合いをする材料にさせたい、体育館で50分で活動を終える。ファシリテーターはポーちゃん和我だけ。時間も空間も人数も制限があります。しかし、ポーちゃんならできると確信していました。実際その通りでした！ポーちゃんはいつでもどこでも誰とでも直ぐに仲良くなるんですね！短いひとときを楽しく過ごすことができました。300人近い人たちが一気に動き回る様子を見て、ポーちゃんが発信する平和の魅力を改めて実感しました。

活動内容は三部構成です。①暴力のない状態が平和かどうかを授業の発端の質問として考える。②『岩波DVDブック Peace Archives 平和ミュージアム』の中から「ポーポキのピース・メッセージ」を視聴する。③「社会を構成する人たちの多様性」「自然や命の尊重」「希望を持つこと」「命を守るために拒否をすること」の優先順序を決めるランキングゲームをすることです。以下は生徒達が書いてくれた感想文です。

私は4つの中から「平和」のものを選ぶときに、どれが一番重要なのかを考えました。その条件は「仲間がいる」「大切な物を粗末にしない」「自分の意見が言える」「希望を持てる」です。私はこれらを繋げてみました。すると、「自分の意見が言うと、同じ意見や違う意見の人達と仲間になれます。そして、話し合った結果違う意見になっても希望がもてます。最終的に平和になれます。そして、平和にもマイナス点があり、度が過ぎて大切な物を粗末にしてしまうような偽りの平和もあるのです。」と。しかし改めて考えてみると、「希望を持ち自分の意見を言う」場合があれば、「仲間がいて、希望を持って意見が言えた」場合もあり、他にもたくさんの種類があると思います。

私は基本平和主義者です。そして、戦争がなくても必ずしも平和とは言えないという考えを持っています。そして中には同じ主義でも考えが違う人もいます。でも、「平和を願う」ことは同じです。その人達が自分の意見を言って、仲間を作り…。そして、今よりももっと「本当の平和」になって欲しいです。

平和ってなんでしょう。わかっているようでわかっていない平和…。

私は世界の生き物すべてが平和だと感じることはないと思います。一部は平和なように見えるだけで、後の大半は平和ではないと思います。仲間がいるから平和？未来があるから平和？すべて違うと思います。

ただ…、過去と現在という時間が与えられ、生きていくことが平和だと思っていた私でしたが、DVDを見て考え直しました。生きていることがつらい人もいるんだなあということを忘れていました。生き物すべての平和とは、逃げずに今を生きることだと思います。

平和とは何？と考えながらみんなが日々を過ごせば、この先の未来、平和と感じられる人が増えていくと思います。

僕は今日のDVDを見て、ポーポキはいろんな平和を知っていて、いくつもの疑問を持っているんだなあと思った。平和には命のことや仲間がいること、意思表示すること、個性をそのまま貫き通す心の平和など、いろいろな種類があって、一種類でまとまるものではないことを教わった。

でも僕は仲間がいて、裕福な生活ができて、戦争がないことが平和だとは思わない。僕にとっての平和は自然がそのままあるように、仲間や同じ種だけではなく、お段はいがみ合っている者でも、いざとなったら存したり助け合ったりすることが、この地球上での平和に近いものではないかと考える。

11月5日の一時間目、1年生が全員ホールに集まった。「何すんのかな。」心の中の疑問は3列になって座った時解けた。「平和」についての学習をするらしい。小学生の時は全くイシキしなかった「平和」というものの存在を、私は中学生になってからその実体は何なのか、はじめて考えるようになった。

どんな言葉にも必ず意味というものがある。だから私は「平和」をひいてみた。だがそこには「①やすらかにやわらぐこと。おだやかで変わりのないこと。②戦争がなくて世が安泰であること。」とするしてあった。「おだやかで変わりがなかったら平和なん？戦争がなかったら平和？」

頭の中の疑問符を消すために調べたはずなのに、疑問符がまた増えてしまった。確かに「おだやかで変わりがなかったら平和？…」と一瞬は思ってしまう。だが、喜怒哀楽のないただの人形も同然になってしまうと私は思う。戦争がなければ平和だなんて、私は明らかにまちがいだと私は思う。

いつもの新聞の記事から戦争の記事だけ抜いてしまっても、「自殺」「殺人」「放火」「事故」…などの量の方が多いと思う。戦争はないけれど、人が亡くなるニュースはこれだけ多いのだ。

そもそもどうして戦争は起こるのか。国同士のケンカなのだ、戦争は。怒るという感情があるからこそ起きてしまうのだ。でも、その感情がなくなってしまうえば、人間はすぐに絶滅してしまうだろう。「平和」というこの一言には無限の意味が込められているにちがいない。私はそう思った。そしてその中で物事は矛盾しまくっている。

ネコのポーポキも「～ということは平和なのかもしれない」「～は平和？」とハッキリと「平和だ」とは言っていない。多分それは「平和だ」などと言い切ってしまうえば、すぐに矛盾が生まれてくるだからと私は思った。

私も生徒達の成長を見ていると、全くその通りだと思います。私は彼らと週二回授業で向き合いますが、彼らのみずみずしい感性や思索への努力に感動を覚える毎日です。自分が心地よいことと気持ちの悪いことがわかる感性。言いたいことが言えないなんて嫌だ！と先生の前で宣言できる、自分も他人もかけがえのない存在として大事にしようとする感覚。難しい問題に立ち向かう時、解決に向かってひとつずつ思考を積み重ねようとする知への要求。一人一人のスピードで自分なりの成長をしていく姿を見ることほど、私が「平和」を実感するときはありません。

ポーポキに西宮

12.1 西宮市国際交流協会

(この報告は、一般参加された東美千代さんが書いてくれました)



ロニーさんのワークショップに初めて参加しました。西宮市国際交流協会会員やユネスコ協会会員、一般参加も含めて計17名が参加。年齢も環境も様々でした。

スクリーンに映し出されるポーポキの活躍に、東ティモールでも活動を？とびっくりしたり、クイズやゲームでは、案外知らないことが多いと実感。平和って？国際協力って？

日本の国際協力は役に立ってる？平和に必要なものを1つだけ選んでと言われても、参加者の意見はバラバラ。あっそうか、答えはひとつじゃない。話し合うこと、違いを認めて理解し合うことが大切なんだと気づかされました。また紙芝居のポーポキは「それって、平和？」と、身近な視点で問いかけます。そしてお楽しみのグループワーク。絵は苦手だから...と遠慮がちに手に取った色鉛筆。でも不思議と楽しく、みんなで模造紙いっぱい、ポーポキや仲間たちを描きました。出来上がった色鮮やかなピースディナーやピーススクールの絵を、グループごとに発表。参加者みんながお互いに学び合えた、楽しく貴重な2時間でした。ポーポキちゃん、ロニーさん、本当にありがとう！



IMAGINE PEACE に参加して

「IMAGINE PEACE ～貧困と平和～」は、2007年10月26日～28日の3日間、60周年記念事業が行われている京都外国語大学で行われました。

その事業の中には「アクションプラン模擬国連」「ハンガーバンケット」「イメージオブピース」「Peace is a Global Language(PGL)会議」「チャリティーパーティー」「ゲストスピーカー」の6つのイベントがあり、ポーポキワークは24あるPGLのプログラムの一つとして行われました。

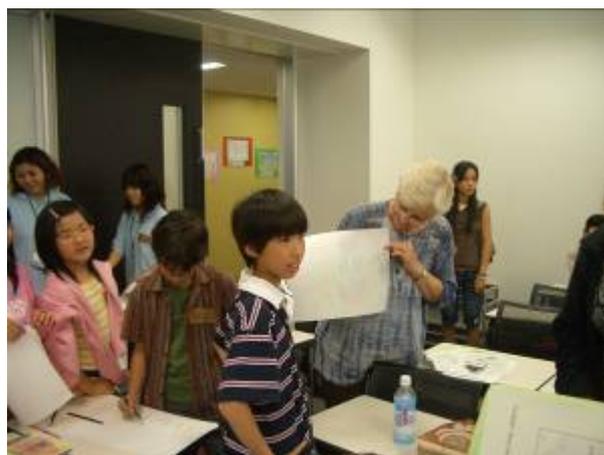


同じ時間帯に同時並行で6コマあるうちのひとつで、参加者のバランスが気になりましたが、幸いに私たちの部屋は写真でも分かるように大盛況。

初めは緊張気味だった参加者は、あっという間にロニーマジックにはまりました。

お絵かきタイムに入ったときに、子供アクションプランに参加していた子供たちが飛び込み参加。

多くの問題を抱えている国のために、今、自分たちに出来ることは何かを考えていた彼らが描く平和の世界は、水・光・環境とより具体的で、分かりやすく、色使



いも明るいものでした。

子供たちに触発されたのか、大人の人たちの絵もストーリー性を持った物かな。

ワークショップは水物で、参加者によってどんどん成長するというのを、今回のイベントでも感じました。

さあ、次はどんな平和の世界が描かれるのか、早く見てみたい気がします。



追伸、ピースブックも持って行った、30冊は完売しました！！

報告者 さ

ポーポキの本を置いてみます！

先日、広島ですてきな出会いがありました。Pomune の檜和田治美さんがポーポキちゃんの本をお店においてくださることになりました。ここで簡単な紹介をします。広島在住の皆様や、それ以外の方々に広島に行くことがありましたらぜひ Pomune へいってみてください。
(ロニー)

広島市中区八丁堀11-24 1F

Tel: 082-224-6557

Pomune・ぽむね

動物雑貨・手作り小物のお店

檜和田治美さん



Q: どういうコンセプトのお店ですか？

動物が大好きで始めたお店です。
ホッと心の和むような動物モチーフの雑貨を生活に加えていただいてちょっと幸せ気分になっていただければと思って頑張っております。
よろしく御願いたします。

URL: <http://pomune.com>

Q: ポーポキについてどう思いますか？

ポーポキの毎日から思う平和。

世界に平和な国と平和でない国があるように、私の心の中にも平和な心と自分勝手な平和でない心があります。

平和な国に生まれて、平和都市に暮らしながら何もできていない私なのでこの書籍の販売に少しでもお役にたてたら自分のためにととてもなる気がします。

Q: 昨日の今日ですが、おいてみていかがですか？

昨日、ポーポキの本1冊売れました！！第1号です。
幼稚園に通う娘さんに読んできかせますっておっしゃってお母様が購入くださいました。

小さな心はポーポキの問いかけをどう感じるのか自分の居る世界以外を知るきっかけにもなりそうで、考えることをはじめる絵本だなと改めて思いました。



すてきなお話

広島で沼田鈴子さんに聞きました

ポーポキの活動をしていて、なにが面白いかというと、やはり色々な人に会ったり話を聞いたりすることができることです。約20年も前のことですが、沼田さんは被爆者として証言活動を始めた頃、日本語がまだあまりできない私は通訳としてお手伝いさせていただきました。一緒にヨーロッパにも行ったりしているうちに、沼田さんが私にとってすてきな「お姉さん」のような存在になりました。「平和」について、たくさんのことを教わりました。



ねこが大好きな沼田さんはポーポキのファンでもあります。先日、さとこさんと一緒に広島で沼田さんにお会いしたとき、「沼田さん、平和ってなに色だと思う？」と聞いてみたら、面白い話をしてくれました。



沼田さんの大好きな青桐（平和公園）

「あるとき、非常に落ち込んでいた人に出会いました。その人に『私も上を見ているひまわりです。あなたはタンポポです。タンポポはいくら踏んづけられても春になると必ず出てきます。平和の色は、ひまわりの色、タンポポの色、黄色ですね。黄色は力がありますよね。』私も病気の時、黄色い花に元気付けられました。（ロニー）



* 沼田さんについてもっと知りたい方は次の図書をご参照ください。 齊藤 貴男、知念ウシ、沼田鈴子、 広岩近広著 『あなたは戦争で死ぬ増すか』 NHK 出版 生活人新書230 2007年



私にとってのポーポキ

今回の「私にとってのポーポキ」はポーポキの仲間の一人、原田かの子さんが『ポーポキ、平和ってなに色?』をプレゼントした相手を書いてくださった感想です。このようにしてポーポキちゃんの仲間が増えることはとてもうれしいことです！（ロニー）



米倉芳枝



ポーポキの本をいただき読ませてもらいました。がん闘病者へ向けてのシンポジウムを運営するために、この半年の間自分の能力をこえて活動をしました。もちろん充実した毎日でしたが、緊張して心がとても硬く硬くなっていたのでしょうか。ポーポキとあって、自分の気持ちが柔らかくなり温かく平和に包まれているのが実感できました。時に緊張して頑張ることは必要ですが、硬い心では良い考えも出てこないし、効率も悪いですものね。そんなことを思い出させてくれたポーポキとの出会いでした。

平和って、大上段にかざすことでなく、日常のちょっとした事から広がっていくものだと教えられました。一人ひとりの心が平和で安心できたら・・・。

そして世界中の一人ひとりがそうなったら、争いはないですね。良い本でした。



10月に訪れたハイデルベルグに

お知らせ～今後のポーポキが登場するイベントなど

- ・ 2008.1.31 基調講演、「グローバル化・先住民族・社会正義」をテーマとした研究集会、ウィニペグ大学(カナダ)、1月31日-2月2日
- ・ 2.13 灘区9条の会お昼休みワークショップ 灘区役所内
- ・ 3.8 神戸演劇鑑賞会 テアトル9（お芝居大好き！九条の会）13:30-15:30 三ノ宮、連絡先：神戸演鑑事務局 078-222-8651 email: kobeenkan@nifty.com

ポーポキ平和基金について

ポーポキ平和基金はこれからも活動の資金のためにご協力を呼びかけ続ける予定ですが、本の作成のための資金集めは、3月31日をもって、打ち切らせていただきました。ありがとうございました！

さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトにご参加のみなさま(ポーポキ平和基金に一口以上を振り込んでいただいたみなさま)には、本がすでにお手元にとどいていると思います。

これからはピース・ワークショップ、ピースキャンプ、翻訳、『ポーポキのピース・ブック1』などの活動を中心に行なう予定です。ご協力、ご支援のほど、よろしく願いいたします。『ポーポキ、平和ってなに色?』についてのコメント、感想、追加注文などについては、popokipeace@yahoo.co.jpにお問い合わせください。

本についての問い合わせや注文はお近くの書店あるいはエピック(TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918)へ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト popokipeace@yahoo.co.jp



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

口座名称 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円。何口でも結構です。



ポーポキ・ピース・プロジェクト

THANK YOU FROM POPOKI !

popoki.cruisejapan.com
popokipeace@yahoo.co.jp